

第21回岩手県生活衛生大会



知事表彰代表 菊池真吉氏



生衛大会長表彰の皆さん

「経営の健全化・振興を通じ 衛生水準の維持向上に務める」 理容組合衛生功労者二十一人氏が受賞

第二十一回岩手県生活衛生大会は、生衛組合十三団体・指導センター・生衛組合中央会が主催。盛岡市ホテルメトロポリタンにおいて旧ろう十一月十七日午後一時から、生衛組合役員及び関係機関、被表彰者多数出席し、盛大に開催された。秋の表彰式典に催されるこの大会は、これを契機として一層の生衛組合の組織化と団結を深め、県民に対する安全・安心で、快適な

生活の確保を期することを目的に、生衛功労者に感謝の意をこめて式典を行う。

第一部は、全国生活衛生営業指導センター主催「生衛業経営セミナー」特別講演。(1)「生活衛生営業と感染症対策」と題し、仙台市副市長岩崎恵美子氏。(2)「生活衛生同業組合の組織と活動」組合活性化と危機管理対応―講師は、全国指導センター専務理事小宮山健彦氏。二人によって二時間にわたり講演が行われた。

岩崎氏は冒頭「人生五十年のうち二十五年は自分のため、後の二十五年は社会のために尽くす」と述べ本題に入った。感染症について、新型インフルエンザ、正しい手洗いの方法と日常生活では当たり前のことだが、罹っては違いと予防について切々と話された。



「感染症対策」について講演の岩崎氏

次に、組合の組織。活動・活性化と、危機管理対応について解説。最初に、全国・業種単位、生活衛生同業組合。都道府県・業種単位、生活衛生同業組合を中心に、厚生労働大臣(諮問)として厚生科学審議会を置き、全国生活衛生営業指導センター、都道府県生活衛生営業指導センターを横に営業約款、衛生・経営指導と流れ、振興計画と共に「営業者」。そして衛生

規制「各業種法」に締める体系を説明した。その中で、組合の創立は歴史に学び、組織率(社会環境)が良くなると弱くなるとも。また、危機管理とは、危機は危なくなるか管理によってチャンスになるかの分岐点。メリットとは組合(組織)の存在が最大のメリットであると結んだ。

第二部大会表彰。来賓に衆・参議院議員、岩手県知事、県議会議員、盛岡市長、県保健所長会長、日本政策金融公庫各支店長等が、臨席。山屋隆大会長挨拶のあと表彰式が行われた。

平成二十年度被表彰者は百三十三名。知事表彰及び優良施設表彰十一名。生活衛生大会長表彰八十五名。生活衛生大会長感謝状二名。生活衛生組合中央会長表彰十五名の方々が栄えある受賞に輝いた。続いて、来賓の達増岩手県知事、谷藤盛岡市長からの祝辞、各界からの祝電披露。「大会スローガン」は、渡邊史朗大会副本部長が朗読「経営の健全化。合理化を促進し消費者ニーズを的確に把握して、需要の拡大に努める。」と満場で見守り、式典を終了した。

第三部は懇親パーティ。祝賀会



「組織と活動」について講演の小宮山氏



従業員
生衛大会長表彰
左より松本・渡辺・佐藤の各氏

受章者のみなさんおめでとうございます

- 大船渡市
- 松本 久夫
- (ヘアサロンホットエム) 盛岡市
- 及川 房子 (タク理容立花店)
- 北上市
- 渡邊 節子 (カットハウスリバー)
- 北上市
- 佐藤 覚 (ヘアサロンタダ)
- 北上市



表彰者を祝して乾盃



知事表彰
菊池氏と理事長

は、受賞者を中心に各界代表、関係者の人達が
テーブルを囲み「乾盃」受賞を祝い生衛組合
のますますの発展を祝した。

秋の各種表彰受賞者は次の通り

(敬称略)

- 厚生労働大臣表彰
- 山口 武男 (副理事長)
- 全国生衛中央会理事長表彰
- 高成 吉見 (県組合理事)
- 岩手県卓越技能者表彰
- 佐藤 三男 (奥州市)
- 全理連理事長表彰



中央会長表彰
左より及川氏・坂井氏

湊 正美 (山田町)
第21回生衛大会
知事表彰 (環境衛生功労)

- 菊池 真吉 (北上市)
- 生活衛生組合中央会長表彰
- 坂井 孝夫 (雫石町)
- 及川 清資 (一関市)
- 田代 三男 (軽米町)
- 生活衛生大会長表彰
- 清水 康雄 (大船渡市)
- 向井 雄一 (二戸市)
- 長崎 望 (一関市)
- 澤村 秀一 (大槌町)
- 泉沢 富士男 (久慈市)



生活衛生大会長表彰
前列左から向井・平井・清水・泉沢・菊池 各氏
後列左から菊池・鈴木・澤村 各氏

- 鈴木 久明 (北上市)
- 菊池 幸夫 (奥州市)
- 熊谷 博夫 (花巻市)
- 大坪 義藏 (洋野町)
- 菊池 三津子 (遠野市)
- 丸山 治 (宮古市)
- 平井 徳子 (紫波市)
- 大会長表彰従業員
- 千葉 香夜
- (ヘアスタイリストサロンレオン)